

岩手県立釜石商工高等学校 部活動安全対策			
No.	部活動名	予想される危険	事故防止対策
1	陸上競技	1 投擲競技における事故 2 ウェイトトレーニング中の事故 3 熱中症の危険性 4 落雷の危険性	1 投擲練習中の周囲確認と声掛け。複数で練習することにより相互に注意喚起。 2 自身の限界以上の負荷をかけないことの徹底。可能なトレーニングへの補助。 3 こまめな水分補給と休憩の確保。必要な場合には身体を冷却することなどの注意喚起。 4 雷鳴が聞こえたり光が見えたりした場合は、ただちに中止して避難する。
2	バスケットボール	1 様々なプレーでの事故（ジャンプ後の着地における足首の捻挫、切り返しにおける膝の靱帯損傷、パスにおける突き指、対人接触による打撲など） 2 夏季における熱中症 3 汗や湿度によるコートの滑り 4 壁や周囲の物への衝突による事故	1 対人練習の中で、自分の身体可動域の確認とコンタクトプレーにおける体の動きを確認しながら練習することを常に意識する。ゴール下など危険性がある場所は人や物に気をつける。シュート後は足元に入らない。 2 休息・給水時間を多めにとる。風通しの良い場所で休憩するよう呼びかける。アイシングを適宜使用する。 3 こまめにコートにモップをかける。 4 身のまわりの整理整頓を常に行う。
3	ソフトテニス	1 熱中症の危険性 2 部員同士での接触 3 落雷の危険性 4 シカとの遭遇	1 給水時間以外にも随時的に給水時間を設けて、水分補給に努める。 2 パートナー同士での声がけを徹底する。 常に周囲の状況を確認してラケットを振るよう、注意を促す。 練習内容を理解して、ボールの飛ぶコースに入らないように注意を促す。 コート面の損傷の程度によって使用するコートを制限する。 顧問が、練習場所を広く見渡して危険な場所を確認し、指示を出す。 3 雷鳴が聞こえたり光が見えたりした場合は、ただちに競技を中止して避難する。 4 目を合わせない。
4	ラグビー	1 熱中症の危険性 2 タックルやスクラムでの怪我 3 接触プレーでの怪我 4 落雷の危険性 5 熊との遭遇	1 水分補給や塩分補給を行い、休憩時間を取る。食事をしっかりとるようにする。 2 ヘッドキャップやマウスガードを着用させる。段階を踏んだ練習メニューを行い、怪我の防止に努める。 3 間隔をしっかりと取り、声を掛け合い接触しないようにさせる。 4 雷が鳴ったら練習を中断し避難する。 5 近くで熊出没の防災放送があったら、練習を中断し校舎に避難する。
5	バドミントン	1 様々な動きの中での怪我 (選手同士の接触、捻挫など) 2 用具設置時の事故 (指の巻き込みによる裂傷など) 3 特に夏季における熱中症	1 コート周辺環境整備（こまめなモップ掛け等）、声掛けによる注意喚起など 2 用具の日常的な点検、整備 3 こまめな水分補給と休憩の確保
6	弓道	1 弓具（弓・矢）の損傷による事故 2 巻藁練習の際、矢が外れ跳ね返る 3 矢取りの際の事故。射場で引いている最中に、矢取りに入る 4 夏季における熱中症	1 練習の前後に弓具の点検をする。 2 巻藁の周囲に、人がいない事を確認して練習する。 3 矢取りに入る際は場的場から赤旗を出し、射場に知らせる。射場からの声掛けで矢取りに入る。 4 こまめな水分補給と休憩。
7	空手道	1 様々な動きの中でのケガ (突き・蹴りによる打撲・脳震盪、選手同士の接触による捻挫など) 2 トレーニング機器の破損による打撲・裂傷。 3 特に夏季における熱中症	1 入念な準備運動と練習時間管理の徹底。 2 トレーニング機器の点検・整備。 3 こまめな水分補給と休憩の確保。
8	なぎなた	1 様々な動きの中でのケガ (打突部位を外して打ち打撲、裸足と床の接触による裂傷など) 2 特に夏季における熱中症	1 入念な準備運動と練習時間管理の徹底 2 こまめな水分補給と休憩の確保。
9	硬式野球	1 打撃練習での事故 2 打撃マシン使用時の事故 3 バットやボールが生徒に接触する事故 4 熱中症（夏季・試合） 5 落雷の危険性	1 打撃投手のヘッドギアの着用を遵守し、防球ネットの適切な配置と安全点検を毎練習前に実施。 2 打撃マシンやマシン用ボールを定期的に点検し、使用時には「行きます」の声がけを徹底。 3 お互いに声を掛け合う習慣を付け、決してボールとバットから目を離さないことを徹底。 4 こまめな水分補給と休憩時間の確保。 5 雷鳴が聞こえたり光が見えたりした場合は、ただちに中止して避難する。
10	茶華道	1 釜の湯による火傷 2 花切りはさみによる怪我 3 熱中症（夏季のみ）	1 釜の湯の温度管理 2 釜やはさみを扱う時は、声がけを徹底し、気をつけるよう意識させる 3 室温や湿度が高い時は、別室で活動する
11	写真	1 撮影中の事故（交通事故、上からの落下物） 2 熱中症（夏季のみ）	1 必ず複数人で行動、周囲の安全確認 2 こまめな水分補給と休憩時間の確保、「運動は原則中止」の日は屋内での活動に切り替え
12	吹奏楽	1 夏季における熱中症 2 冬季における石油暖房使用時の火災・一酸化炭素中毒 3 楽器運搬時（重量のある楽器の運搬時）の怪我や事故	1 こまめな水分補給の徹底と音楽室に設置されているエアコンを適宜使用し適正な室温管理努める。 2 暖房器具の異常の有無をこまめに点検し、適切な換気に努め、退室時の消火確認を徹底する。 3 楽器運搬作業の前に安全指導を徹底する。移動する順番や人員を適切に配置し、顧問の監視のもと事故を未然に防ぐ声がけや安全確保を行う。
13	美術	1 夏季における熱中症 2 冬季における火災、一酸化炭素中毒 3 地震発生による物品落下による怪我	1 こまめな水分補給と休憩時間の確保をする。室温や湿度が高い場合は、活動を中止する。 2 火気使用の規則を遵守する。換気を徹底する。 3 使用教室の物品を整理整頓する。安全確認をする。
14	ワープロ	1 機器の落下による怪我 2 夏季における熱中症	1 機器を移動する際は、常に2人以上で行い、障害物や配線等の安全確認を徹底する。 2 エアコンを使用しての室温管理と水分補給時間を確保する。
15	工業クラブ	1 工作機械等の誤操作・切りくず等による怪我 2 材料運搬時に落下等による手足等への怪我 3 夏季における熱中症	1 工作機械等の正しい操作と知識を指導し、適した服装や保護めがねの着用を行う。また、教員が必ず立ち会い、難しい場合は機械操作は行わない。 2 安全靴の着用と、適した作業手袋の使用。複数人で行き、声を掛け合うことを教育する。 3 こまめな水分補給と休憩の確保。必要な場合には身体を冷却することなどの注意喚起。